

# 第24回日本看護管理学会学術集会 インフォメーションエクステンジ22

第24回日本看護管理学会学術集会  
インフォメーションエクステンジ22



## 医療・看護の質改善のための取り組み体制と 質改善担当者のコンピテンシー

2020年8月29日(土) 16:40~17:40  
第1会場

# 第24回日本看護管理学会学術集会 インフォメーションエクステンジ企画

## 日本看護質評価改善機構の取り組み

- (1) 看護の質評価指標開発・研究事業
- (2) 看護の質評価, 改善, 相談事業
- (3) 看護の質に関する教育事業
- (4) 看護の質に関する普及事業
- (5) 看護の質に関する国際交流事業
- (6) その他, 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業



## 本日のインフォメーションエクステンジの企画に至った疑問

- 評価はするけど結果を改善につなげる取り組みはどうか?
- 組織内に改善にコミットして推進する人材(質改善担当者)が必要ではないか?
- 質改善担当者はどんなコンピテンシーをもっていたらいいか?

### 探求のテーマ

⇒ 質改善のための組織体制、質改善担当者のコンピテンシーを探求する

## 質改善担当者に関する国内外の動向

### <米国>

#### ① Magnet Champion (マグネットチャンピオン)

マグネットホスピタル取得に向けて、①職場環境を見直す、②職場のみんなのモチベーションを高める、③改善点を明らかにし、改善に取り組む、④ロールモデルとなる(オーストラリア Princess Alexandra Hospital Health Service District)

#### ② Research Nurse (リサーチナース)

質改善にむけて、①必要なデータ収集、フォローアップ、②調査の企画実施、③安全や質改善へのレポート、④様々な試行プロジェクトのリーダー、⑤臨床研究、⑥データの活用についてのリーダーシップ、(⑦治験への関与/CRC)

#### ③ Nurse Manager (看護管理者)

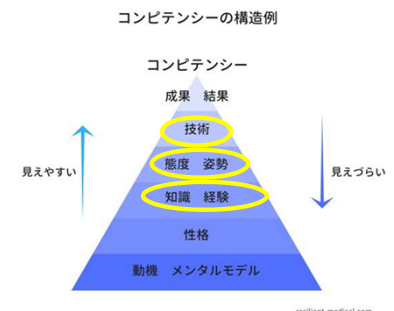
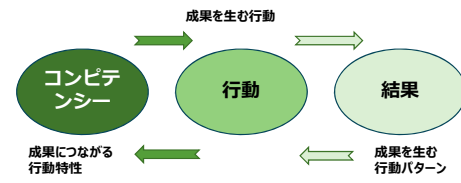
### <日本>

....

## 質改善推進者に求められるコンピテンシー

### コンピテンシー (competency) とは?

成果につながる行動特性のこと。優れた成果を発揮している人には特有の行動的な特性があり、その特性を把握することによって他のスタッフの人材育成に活用していくことができる。



質改善推進者のコンピテンシー

QSEN Quality and Safty Education for Nurses	The Nurse Manager Competencies	Exective Summary of the Competencies in Quality Improvement and Patient Safty	改善力の研究 (2014年)
Patient-Centered Care 患者中心のケア	customer and patient engagement		・自分の看護ケアを振り返る ・看護ケアの大切な視点を認識する
Teamwork and Collaboration チームワークと協働	Promote intra/interdepartmental communication	Working effectively in an interprofessional team	・管理者のサポート ・話し合って行動する
Evidence-based Practice エビデンスに基づいた実践		Practicing EBM	・可視化されたデータを使って改善に結び付ける
Quality Improvement 質改善	Performance Improvement	Analyse in one's practice and making improvements incorporating feedback into practice Adapting to a variety of systems and settings Understanding and Improve system Incorporating considerations of cost	・学習内容を実践に活かす ・変化の実感とフィードバックが改善につながる ・評価結果の共通認識 ・改善活動を組織システムに組み込む ・改善活動に関する意識
Safty 安全	Patient safety Monitor and promote workplace safty requirements	awareness and risk-benefit analysis in patient and/or popuration-based care	
Information 情報	Maintain survey and regulatory readiness	Using information technology to improve practice and reduce errors  knowing one's limitations	・質の評価と改善に関する情報共有 ・改善点が明確になる ・改善活動のトリガー ・研修会による理解とWSやコンサルテーションとの運動



QSEN Competencies

<https://qsen.org/competencies/>

QSEN ; the Quality and Safety Education for Nurses

QSENプロジェクトのねらいは、医療システムの質と安全性を継続的に改善するために必要なKSAs ; 知識knowledge、スキルskills、態度attitudes を持つ看護師を育成することである。

- Patient-Centered Care 患者中心のケア
- Teamwork & Collaboration チームワークと協働
- Evidence-Based Practice エビデンスにもとづく実践
- Quality Improvement 質改善
- Safty 安全
- Informatics 情報(科)学

**質改善 Quality Improvement (QI)**  
定義：ケアのプロセスのアウトカムをモニターするため、方法の改善、また、ヘルスケアシステムの継続的質改善と安全のための変革を企画し評価するためにデータを用いる。

QSEN Competencies 質改善

<https://qsen.org/competencies/>

知識	スキル	態度
臨床において、ケアの結果について学ぶための方法が説明できる。	ケアが提供された集団のケアの結果に関する情報を探す。ケア環境における質改善プロジェクトに関する情報を探す。	継続的な質改善がすべての医療専門職の日常業務の重要な部分であることを認める。
医療専門職の学生は、患者・家族の転帰に影響を与えるケアプロセスシステムの一部であることがわかる。専門職の自律とシステムの機能が説明できる。	フローチャート、因果関係図などのツールを使用して、ケアのプロセスを明確にする。センチネルイベントの根本原因分析に参加する。	ケア環境におけるケアの結果に対する自分自身と他者の貢献を評価する。
ケアの質評価におけるバリエーションと測定的重要性が説明できる。	質指標を用いてパフォーマンスを理解する。バリエーションを理解するのに役立つツールを使用する。現状とベストプラクティスの差を特定する。	望まないバリエーションがケアにどのように影響するかを理解する。よい患者ケアにおける役割に価値をおく。
ケアのプロセスを変えるためのアプローチが説明できる。	PDCAなどを使用して、日常業務の小さなテストを設計する。ケアの改善に関連する目的、方法、変更を調整する練習。測定値を使用して変更の影響を評価する。	現状の変化と、仕事の喜びを生み出す役割に価値をおく。個人やチームがケアを改善するためにできることの価値を認める。

## 質改善のための組織体制および 質改善担当者に求められる知識や能力

2019年度青森県立保健大学特別研究（代表：佐藤しのぶ）  
「医療・看護における質改善担当者のコンピテンシーに基づく育成プログラムの開発－病院における質改善の取り組み実態調査－」より

9

## まずは、

▶このインフォメーション・エクステンジにご参加の皆さんの職場における現状を教えてください。

▶こちらにアクセスして、アンケートにご回答をお願いします。

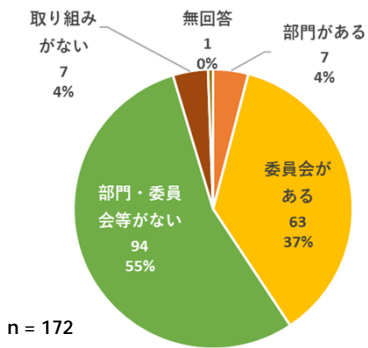
<https://forms.gle/jM83ZoFBtH2M15Zw7>



▶ ご回答は、任意です。  
▶ 匿名であり、個人情報の収集はありません。

10

## 質改善のための組織体制の状況



質改善のための組織体制について、「部門がある」4%であり、「部門・委員会等がない」が半数以上を占めていた。  
委員会名が多かったのは、  
・ISO/病院機能評価に関する委員会  
・業務改善委員会  
・医療安全管理委員会 など

全国の一般病院より無作為抽出した施設の看護部長を対象とした無記名自記式質問紙調査  
調査期間：2019年11月  
配布：1971 回収：224 有効回答：172  
有効回答率 8.7%

11

## 看護部における質改善担当者の状況

- ▶ 質改善担当者としてあげられたのは、
  - ▶ 看護部長、および副部長、もしくは看護師長等 14 %
  - ▶ 副部長、および看護師長等 14 %
  - ▶ 看護師長、および主任等 18 %
  - ▶ いない 37 %
- ▶ 質改善担当者の選考基準・要件としてあげられたのは、  
役職、経歴、学歴、管理研修受講経験、職務経験 など

12

看護ケアの質改善力を構成する要素

看護師自身の質に関する認識	自分の看護ケアを振り返る 看護ケアの大切な視点を認識する 変化の実感とフィードバック
組織的改善システム	管理者のサポート 改善点が明確になる 可視化されたデータを使って改善に結びつける 質の評価と改善に関する情報共有 評価結果の共通認識 改善活動を組織システムに組み込む 改善活動のトリガー 話し合って行動する
改善に対する想い・理念	改善活動に対する意識
学習と実践	研修会による理解とワークショップやコンサルテーションとの連動 学習内容を実践に活かす

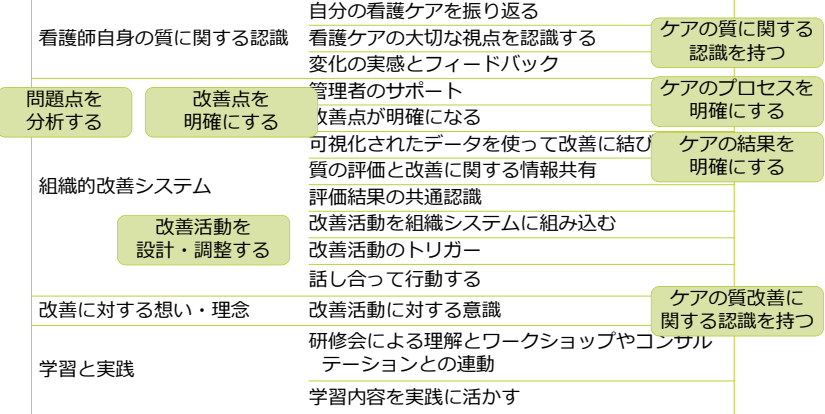
2014年度青森県立保健大学特別研究（代表：上泉和子）  
「看護ケアの質改善力の探求 - 看護Qプログラムを用いた日本版マグネティズムの検討 -」より

QSEN Competencies 質改善

<https://qsen.org/competencies/>

知識	スキル	態度
臨床において、ケアの結果について学ぶための方法が説明できる。	ケアが提供された集団のケアの結果に関する情報を探す。 ケア環境における質情報を探す。	継続的な質改善がすべての医療専門職の日常業務の重要な部分であることを認める。
医療専門職の学生は、転帰に影響を与えるシステムの一部である専門職の自律とシステムの機能が説明できる。	ケアのプロセスを明確にする チャート、因果関係図などのツールを使用してケアのプロセスを明確にする。 チームイベントの根本原因分析に参加する。	ケア環境におけるケアの結果に対する自分自身と他者の貢献を評価する 問題点を分析する
ケアの質評価における測定と測定の重要性が説明できる。	ケアの結果を明確にする 改善点を明確にする 指標を用いてパフォーマンスを理解する。 リレーションを理解するのに役立つツールを使用する。 現状とベストプラクティスの差を特定する。	望まないバリエーションがケアにどのように影響するかを理解する。 よい患者ケアにおける役割に価値をおく。
ケアのプロセスを変えるためのアプローチが説明できる。	改善活動を設計・調整する PDCAなどを使用して、日常業務の小さなテストを設計する。 ケアの改善に関連する目的、方法、変更を調整する練習。 測定値を使用して変更の影響を測定する。	現状の変化と、仕事の喜びを生み出す役割に価値をおく。 個人やチームがケアを改善することができることの価値を認める。 ケアの質改善に関する認識を持つ

看護ケアの質改善力を構成する要素



2014年度青森県立保健大学特別研究（代表：上泉和子）  
「看護ケアの質改善力の探求 - 看護Qプログラムを用いた日本版マグネティズムの検討 -」より

医療・看護の質改善のための組織体制  
と質改善担当者に関する課題

医療・看護の質改善のための組織体制と質改善担当者に関する課題

- ▶
- ▶
- ▶
- ▶
- ▶
- ▶

さいごに、

- ▶ このインフォメーション・エクステンジのご感想をお聞かせください。
- ▶ こちらにアクセスして、アンケートにご回答をお願いします。

<https://forms.gle/SLPpe57a4rwqmCp16>



- ▶ ご回答は、任意です。
- ▶ 匿名であり、個人情報の収集はありません。

看護ケアの質

構造 Structure	過程 Process	結果 Outcome
<p>患者への接近 内なる力を強める 家族の絆を強める 直接ケア 場をつくる インシデントを防ぐ</p>	<p>患者への接近 内なる力を強める 家族の絆を強める 直接ケア 場をつくる インシデントを防ぐ</p>	<p>患者・家族満足度</p> <p>患者への接近 内なる力を強める 家族の絆を強める 直接ケア 場をつくる インシデントを防ぐ</p> <p>インシデント発生件数 (転倒、転落、褥瘡、誤薬、院内感染)</p>

<http://nursing-qi.com/>